

# 自転車盗難保険「RIDE ON」

## 高級車市場拡大で追い風

### トライアングル少短

トライアングル少額短期保険が昨年6月に販売を開始した「RIDE ON(自転車盗難保険)」は、2年間の保険期間中に自転車盗難にあった場合に自転車に生じた盗取、損傷または汚損の損害に対し、自転車購入価格の70%を限度として補償する。安価な保険料に加え、高級自転車の市場拡大が追い風となり、一都三県を中心に、代理店等からの問い合わせが増えている。

現在、自転車通勤者の姿が多く見掛けられる。健康志向の高まりもあるが、東日本大震災後、できるだけエネルギー消費が少ない乗り物を使用したと考えるエコ志向や、

同じく震災によって公共の市場も拡大している。自転車を扱う販売店も増え、一般の自転車販売店、プロスポーツショップや、輸入自転車を扱うネ

都内の「自転車盗」の発生件数は、4万273件。発生場所でも多かったのが住宅の敷地内で42・8%を占めており、次いで、道路上、駐車場・駐輪場の順だが、57・2%が鍵を付けたままの状態

が盗まれた、盗まれたロードバイクが発見されたが、破損、汚損がひどく全損となった一などが補償の対象となる。

また、自転車で遠出した場合に何かトラブルがあった際の臨時宿泊費用は1万円、臨時帰宅費用は2万円まで補償される

## 購入価格の70%限度に補償

ツトショップなどさまざまな。自転車ブームによる登録件数増加の一方で、自転車盗難発生件数も急増している。警視庁の統計によると、2017年の

単位での加入や保険の継続はできない。自宅ガレージに保管していたロードバイクが盗まれた、買い物中にスーパーの駐輪場に停めておいた電動アシスト自転車

害が自転車全体の価値に及ぼす影響を考慮して決定する。サイクルコンピュータ等、着脱可能な電子機器類の盗難によって生じた損害は対象外。また、地方公共団体が定

営業推進部営業推進第2グループの香田力グループ長は「自転車販売の繁忙期は新年度の4月に最も集中している。その次は新年度モデルがリリースされる9月だ。それぞれの繁忙期に向けて、当保険を紹介するポップ・ツール類を整備していくとともに、きめ細かくユーザーのニーズを収集し、新商品開発につなげていきたい」と話している。



パンフレット